上川町 トンネル個別施設計画

令和4年12月(適宜変更)

北海道上川町 建設水道課

1. 個別施設計画の目的

上川町管理のトンネルは素掘りのトンネルで落石等の危険がある為現在は通行止めとしている R10年度までに廃道を予定しているが、該当トンネルは国立公園内にあり底地が林野庁である。 そのため廃道するには環境省・林野庁との協議が必要でありトンネルの撤去・自然回復も 必要になる。廃道までの間点検等を行い安全性を図るものである

また、これらをより効率的・具体的に実施していくため、個別施設計画を策定するものである。

2. 個別施設計画の対象トンネル

	1級町道	2級町道	その他	合計
全管理トンネル数			1	1

※大函隧道は落石の危険があるため通行止めとしている。 廃道の検討中

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

- 1)健全度の把握の基本的な方針 5年に1回の法定点検及び日常のパトロール等により、損傷の把握を適切に行い記録する。
- 2)日常的な維持管理に関する基本的な方針 法定点検や日常のパトロールを適切に実施し、トンネルを良好な状態に保つことに努める。
- 3)新技術の活用を検討し、コスト削減に努める。

4. 対象トンネルの長寿命化及び修繕・架替えに関する費用縮減に関する基本的な方針

廃道する事で、ライフサイクルコストの縮減を図る 詳細点検結果に基づく健全度把握及び損傷状況に応じてトンネル個別施設計画を見直す。

5. 対象トンネルの概ねの次回点検時期及び維持管理、修繕内容・時期または更新時期 別紙による。

6. 個別施設計画を策定したことによる効果

	維持管理計画と評価										
位置付け	当該路線は層雲峡に位置し、記念撮影や休憩スポットとして人気がある層雲峡で最も素晴らしい峡谷 美と言われている大函を眺める事ができ、大型駐車場が整備されている。また北海道有数の規模を誇 る層雲峡温泉からも近く、多くの観光客が訪れ独立占用時歩道として観光アクセス路線であったが現 在老朽化の為、廃道前提で通行止めとなっている。										
維持管理 修繕内容	1)5年に1度定期点検を行う。 2)維持管理費 ¥ 3,000,000円(税抜き) 3)修繕内容 落石対策・ひび割れ補修 4)修繕費 ¥ 30,000,000円(税抜き)										
	維持管理・修繕実施の場合	維持管理・修繕未実施の場合									
損傷部位 の状況	健全度の回復	健全度の低下 応急箇所の劣化が進行し修繕範囲が拡大									
コスト	最小限(コスト縮減効果) 30,000,000円	修繕範囲拡大に伴うコスト上昇									
第三者 被害	第三者被害の回避	第三者被害発生の恐れ (通行人に対して)									

7. 今後の取り組み

維持管理の更なる高度化、効率化を目指して、以下の取り組みを行う。

- 1) 新技術等の活用、費用縮減
- ・維持管理において、ドローン点検の新技術活用を含めた比較検討を行い令和10年度までに約1百万円のコスト縮減を目指す。
- ・補修工事においても、設計段階から新技術の活用を含めた比較検討を行い、コスト縮減を目指す。
- 2) 集約化・撤去

大函隧道は通行止め区間にある為、令和10年度までに廃道に向け、環境省・林野庁との協議を進め約3百万円のコスト縮減を目指す。

8. 計画策定担当部署

北海道上川町役場建設水道課技術グループ Tel 01658-2-4060(直通)

凡例:<---->対策を実施すべき期間を示す

	道路 種別	路線名	所在地	施設		供用 年度	幅員	最新		14-14	対策の内容・時期									
施設名				施設延長	架設 年度			最新 点検	点検結 果	修繕 計画	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
								年次	果	計画	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)	(R13)	(R14)
大函隧道	その他	層雲峡大函線	上川町字層雲峡	390	1942	77	6.5	2022	Ш						<>					<>
トンネル等級:D		(町道:独立専用自歩道)			(S20)			(1巡目)		対策内					定期点検					定期点検3巡目
トンネル本体補修履歴:無し	Ĺ	※現在は通行止め								容					2巡目					落石対策
トンネル照明施設更新履歴:無																				¥30,000,000
	ļ																			

[※]土地の関係で環境省・林野庁、観光面での活用の話がある為観光協会等、ダム管理のケーブルが通っているのでダム管理、各所管との協議が必要。

大函隧道は、国立公園内であり、廃道するにも敷地が林野庁でトンネルの撤去・自然回復を求められ 費用が莫大にかかり町の財政では困難な状況です。











